



お祭り騒ぎのスポーツ大会！

パン食い競走の必勝法は、ぶら下がっているパンを上から食いちぎること。下から噛み付きにいくとどうしてもパンが揺れて上手く口にくわえることができません。そのことに気が付いた小学生の私は、地域の運動会のパン食い競走で無敵となりました。勉強やスポーツができる訳でもない私が、唯一パン食い競走では毎回1位をかっさうのです。この勢いで中・高ではパン食い競走部に入り、高校では国体にも出場し、高3時には複数のチームからドラフト指名されるも、それらを蹴って大学へ進学したのち、卒業後はヨーロッパのチームでプロパン食い競走選手として活躍する…はずでした。しかし、パン食い競走にプロへ続く道は、当時(現在も)ありませんでした。学校の体育大会にすらそんな競技は存在しません。なぜでしょう？ 私見ですが、「体育大会」は普段の体育の授業の発表会の場であって、パン食い競走や借り物競走など、学校の体育ではやらないような種目をするのが「運動会」ではないかと思っています。だから、学校でやるのは「運動会」ではなく「体育大会」なのです(※個人の感想)。

あまようで実施する体育行事は、これまで「体育祭」という名前で行ってきました。体育の授業の発表会とは言っても、子どもからしてみれば体育行事は授業ではなく、一種のイベント、お祭りのようなものです。あまようの教職員は子どもの視線や表情などからその子の気持ちを読み取って、言いたいことを代弁することがよくあります。だから体育行事の名称も、教師目線の「体育大会」ではなく子ども目線の「体育祭」と呼ぶ方が、あまようらしいなあと感じていました。今年度は「体育祭」ではなく「スポーツ大会」という名称で体育行事を行います。ちなみに「国民体育大会(国体)」も今年から「国民スポーツ大会(国スポ)」という名称に変わります。耳慣れないので、しばらくは「国スポ…? 国際スポッチャ協会のこと?」と勘違いされそうですね。(※ちなみに、そんな協会は今は(過去にも)ありません)

今年は、パラスポーツの管轄が厚生労働省から文部科学省に移管されて10年になります。1992年のバルセロナ・パラリンピックの競泳で二つの銀メダルを取った河合純一選手は、厚生省(現・厚生労働省)から表彰を受けたのですが、授賞理由では「練習」は「訓練」、「トレーニング」は「リハビリ」と説明されたそうです。当時のパラスポーツは福祉の一環であり、パラ選手は国立のトレーニング施設も使えませんでした。東京五輪・パラの招致活動を進めていた頃から五輪とパラの連携がみられるようになり、パラスポーツ選手の環境はこの10年で大きく改善されました。

日本パラスポーツ協会が重要な課題として捉えているというのが重度障害者のスポーツ参加だそうです。高等部までの学校教育では身体を動かす授業がありますが、卒業後はその機会が減ってしまいます。重度障害者のために考案されたポッチャも全国各地で教室が開かれています。生涯を通じてスポーツを楽しむことのできる環境整備が望まれます。「スポーツ」の語源は、ラテン語の「deportare」(気晴らし、休養、楽しむ、等の意味)だそうです。教育としての「体育」や、福祉としての「訓練」も大切ですが、純粹に競技を楽しみ、挑戦する「スポーツ」も大切です。あまようには、今、スポーツの力が必要なのです。保護者参加型のスポーツ大会、みんなで盛り上げていきましょう～！



殻を取ったら
さらに速くなる
んだらうね。

取れん
のよ

この殻は 亀仙人の 甲羅じゃねえ！

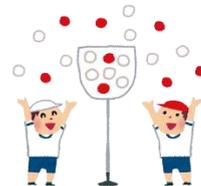
(校長 河合 康一)

☆スポーツ大会の競技について（主に『ウィキペディア』より）



中学部・高等部が行う「ボッチャ」とは？

- 赤または青の皮製ボールを投げ、「ジャックボール」と呼ばれる白い目標球にどれだけ近づけられるかを競う。
- 競技名の由来は、イタリア語で「ボール」を意味する単語から来ている。
- パラリンピックでは、1988年のソウル大会より正式競技として採用されている。日本代表チームはリオ大会では団体で銀メダル、東京大会では個人で杉村英孝選手が日本初のパラリンピック金メダルを獲得している。
- あまよりのスポーツ大会では、1チーム2人の団体戦で、4コートに分かれて実施します。



小学部が行う「玉入れ」とは？

- 一定の離れた所にある籠に球を投げて、時間内に入れた数量の多さを競う。
- 公式競技としての玉入れは、「アジャタ(AJTA: All Japan Tamaire Association)」と呼ばれている。
- 「アジャタ」は、99個の玉に続いて1個のアンカーボールを入れるまでの時間の短さを競う競技となっていて、1投目で99個を入れて2投目でアンカーボール1個を入れると、パーフェクトゲーム(最速記録は6秒51)。
- あまよりのスポーツ大会では、歩行・車いす・投球機の混合グループをつくり、紅白戦を行います。

児童会・生徒会の人がつくってくれたスポーツ大会の目標シートに、一人一人個人目標を書きました。体育館前に掲示をしていますので、当日、競技の前に、子どもたちの意気込みをぜひご覧ください。



小低

小中

小高

中学部

高等部1・2年

高等部3年

先週は神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会で盛り上がっていました。来週はあまよりの番です！体育館で行いますので雨天決行ですが、できれば当日は かいせい を祈って、実施したいですね。

☆ ありがとうございます！

- * 5月1日に、大島商事の方3名にあまよりに来ていただき、学校長から感謝状をお渡ししました。大島商事様からは毎年、あまようにご寄付をいただいています。今年度は、プール用のフロートクッション、スイッチ、スヌーズレングッズを買わせていただきました。小低のクラスがこの日に早速、スヌーズレン室でグッズを使って学習をしましたので、大島商事様にもその様子をご参観いただきました。
- * 5月21日に、肢体不自由児者父母の会の会長様をご来校くださり、寄贈品の目録を学校長へ手渡してくださいました。今年度、寄贈いただきました物品は、ベッド4台、ラッサルクッション2つ、腰掛け台、大型絵本2冊です。ベッドについては、すでに使わせていただいております。いつもあまよりのことを気にかけていただき、ありがとうございます。寄贈いただいた物品は、大切に使わせていただきます。